45 01 09 01 03 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月21日(木)

事務事業	常備消防施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防力の整備指針				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	市民が安全・安心に暮らせるよう、各種法令等に基づき適切に消防施設を維持管理することによって、災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保するものである。
目的 ※何のために	市民が安全・安心に暮らせるため。
対象 ※誰・何を対象に	消防施設
手段 ※どのように	法令に基づく各種定期点検・保守点検を実施し、所管課による定期的な点検を行う。
成果 ※何を求めるか	災害発生時における消防活動拠点としての即応体制を維持、確保する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	常備消防施設維持管理事業	53,647,365
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 電気設備保安管理業務	・ 庁舎清掃業務
・ エレベータ保守点検	・ 寝具滅菌乾燥消毒業務
・ 特定建築物衛生管理技術者業務	・ 庁舎等補修修繕
・ 空調設備保守点検	・ 建物調査の実施
・ 消防用設備保守点検	・
・ 浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画				消防分署備品一式（寄居分署） 受電ケーブル更新工事（花園） 植栽業務委託料（本部庁舎）	訓練施設修繕（深谷） 訓練施設修繕（花園）			
事業費	予算（現額）		33,079,000	75,342,000	55,118,000	49,216,000	52,230,000	
	決算額		31,172,614	69,310,230	53,647,365	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	8,593,000	16,794,000	11,629,000	21,078,000	27,608,000	
		一般財源	22,579,614	52,516,230	42,018,365	28,138,000	24,622,000	
人件費	従事職員数(人)		0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	
	人件費相当試算 ※1		6,612,150	6,614,700	6,681,850	6,925,800	6,925,800	
			0	0	0	0	0	
(総事業費試算)			37,784,764	75,924,930	60,329,215	56,141,800	59,155,800	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	施設修繕件数	目標値	件							■
			実績値		15.00	32.00	22.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		修繕の件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。							
		当該年度実績									
■	活動指標２	常時稼働施設数	目標値	箇所	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	□
			実績値		8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	
		年度別目標値の設定根拠		消防活動拠点機能を維持するため、常時稼働すべき施設数を目標としている。							
		当該年度実績									
■	成果指標１	施設稼働日数	目標値	日	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	□
			実績値		2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	2,920.00	
		年度別目標値の設定根拠		常時災害に対応するため、８施設の稼働すべき日数を目標としている。							
		８施設×１年間の日数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 消防活動拠点機能を維持するため、定期的な目視点検を実施するとともに、設備等に不具合が発生した際には、市民影響や緊急性の高さなどから優先順位を定め効率的な修繕を実施することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 全ての消防施設が年間の日数を稼働することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	施設係長　飯野昌栄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	次年度から新消防分署での運用が開始されることから、新たな設備等に対し計画的な保守管理を行うため、契約時期や内容の変更を行うとともに、増加が見込まれる需用費の適正管理に努める。
達成状況 及び その効果	寄居分署、川本分署及び藤沢分署が新築移転し、新たな設備として自家用電気工作物や非常用発電設備などが設置されたほか、浄化槽や消防用設備などの規模が変更になったことから、委託業務の内容や時期を見直したことで、適正な維持管理ができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4505

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

災害発生時、消防活動の拠点となる常備消防施設の機能を維持管理するため、定期的な点検を行い不具合が発生した場合には必要に応じて、整備や修繕を行う必要がある。今後においても消防施設の維持管理を継続して実施し、災害活動の拠点として有事の即応体制を確保していく。

評価者	次長兼消防総務課長　江原　正明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

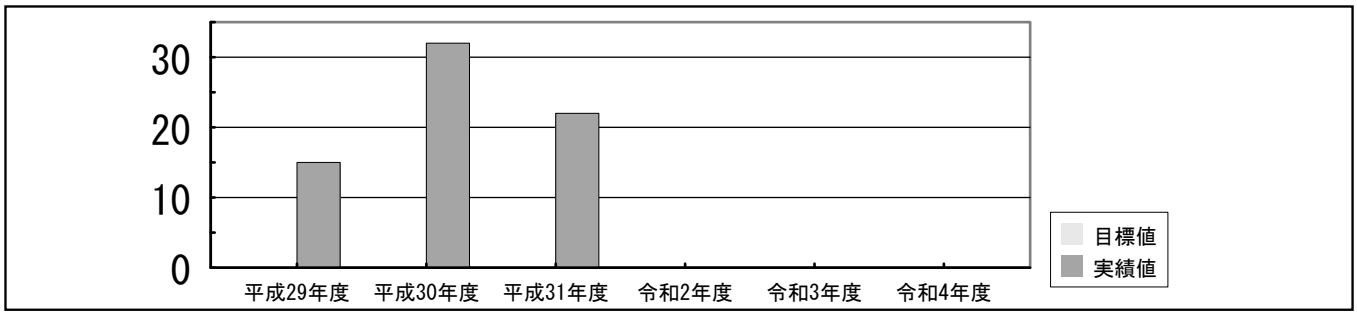
改善・改革案	消防活動拠点機能を継続的に維持するため、竣工から３１年が経過する花園消防署の大規模改修について検討する。また、竣工から１５年が経過する消防庁舎の電気・機械設備は、部品等の調達が困難となり修繕ができない設備があるため、更新を含めた検討を行う。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

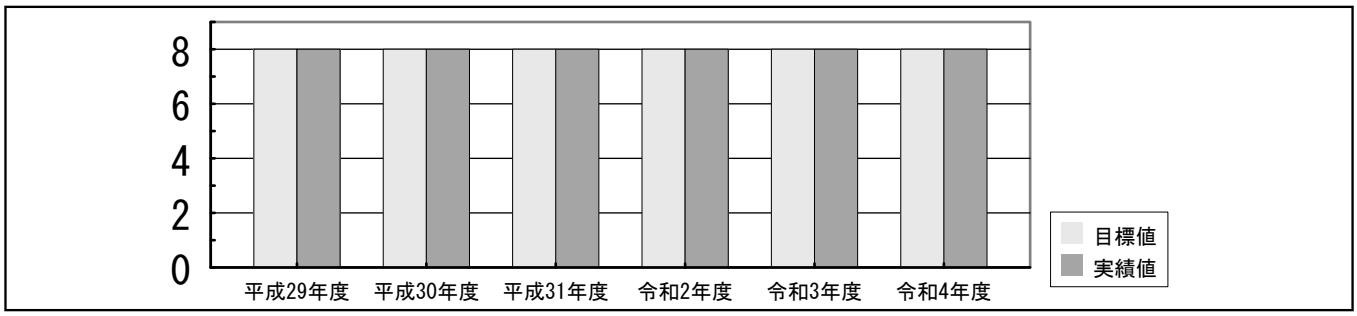
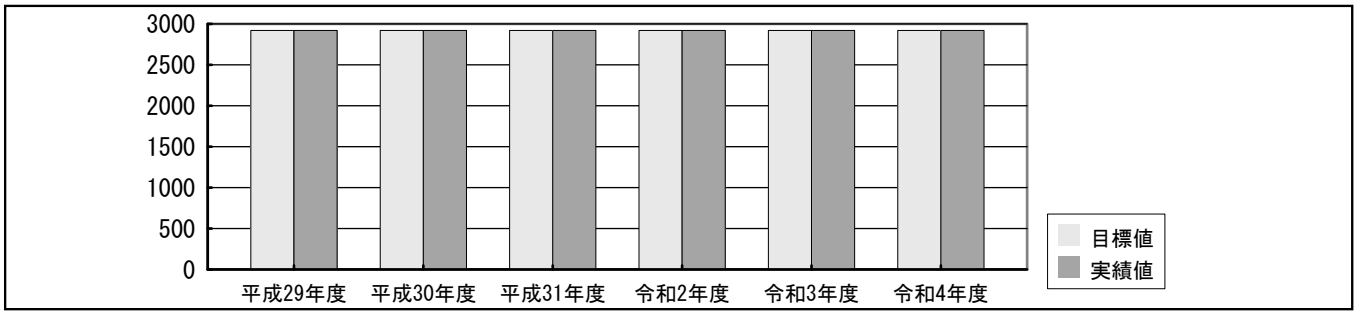
今後の課題	消防施設の大規模改修や設備の更新など、大幅な予算の増加が見込まれるため計画的に実施する必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	施設修繕件数



区分	活動指標２	指標名	常時稼働施設数



区分	成果指標１	指標名	施設稼働日数